

事務事業評価一覧(課別)

令和6年度

市長公室ジオパーク推進課 (単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	1,844	コスト	成果	
2178 霧島ジオパーク推進事業	1,844	→	↑	532-01

1. 基本情報									
事務事業名		2178－霧島ジオパーク推進事業							
政策名		5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)			所属		ジオパーク推進課		
施策名		3. 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開							
基本事業名		2. 広域的な連携の推進			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①錦江湾奥会議や霧島ジオパーク推進連絡協議会等の活動を通じ、様々な自治体と防災・環境・観光などの分野で連携を推進します。 ②ユネスコ世界ジオパークの認定に向け、桜島・錦江湾ジオパークと霧島ジオパークを統合したエリアでの活動を進めるとともに、他ジオパークとの情報交換や交流を通じて、ジオパーク全体の質の向上に貢献します。			算	款	07	商工費		
				科	項	01	商工費		
				目	目	06	霧島ジオパーク推進費		
				事業期間				平成20年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)			根拠法令 条例等		特になし	
	①錦江湾奥会議・霧島ジオパーク推進連絡協議会の構成市町 ②市民		①共通の課題が解決される ②持続可能な地域社会の一員となってもらふ			関連計画		第2次霧島ジオパーク基本計画(2022-2029)	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地球遺産(地形地質、自然、文化)を保全し、教育や観光への活用、防災への取組みを推進する。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)	
ア	霧島市に在住する住民	霧島市に在住する住民数		人	122,442	123,101	121,379	122,830	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)	
ア	ジオパークの活動に関心を持ってもらう	ジオパーク関連事業への参加者数		人	1,084	1,090	1,309	1,400	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果				
事業費(千円)		1,826	1,844	1,844	保全関係では、天降川河口周辺において海洋環境の保全を促す「湿地の生きもの観察ツアー」を開催し、参加者と野鳥観察等を通じて生態系への理解を深めた。 教育関係では、各学校等への出前講座やフィールド研修等を実施し、ジオパークの視点を取り入れた学習支援に繋がった。また、「夏休み子ども火山スクール」では、火山噴火のしくみや起こり得る被害、その備え・対処方法等を子ども達に学ぶ機会を提供し、火山についての興味・関心を高めることができた。 防災関係では、観光・防災等関係者を対象とした「火山勉強会」を開催し、自然災害の経緯や教訓等を参加者で共有し、防災・減災意識の高揚に繋がった。また、地域にある自然災害伝承碑を国土地理院地図への掲載を進め、地図を通じて過去に発生した自然災害の情報を地域住民等へ提供し、防災意識の向上に役立てた。 観光関係では、誰もが楽しむことができる観光地づくりを目指す一環として、観光関係者等を対象に車椅子や近距離モビリティ(電動車椅子)を使ったツーリズムを考える研修会を開催し、今後、地域におけるユニバーサルツーリズムの推進に寄与する取組みとなった。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		1,826	1,844	1,844					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はある		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					***		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					***		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					***		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		↑ 拡充	日本ジオパークエリア拡大認定時に指摘のあった課題等に対する「霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン2023-2026」に基づき、関係団体等と協働した保全・管理方法の検討や地域住民がジオパーク地域に住んでいることを認知できるような活動等の取組みを行う。また、ユネスコ世界ジオパークを目指し、エリア拡大した地域でのジオパーク活動を充実させ、質を高めしていく。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							